

旅へ挑戦する人々へ

旅をあきらめない

しゃらく旅倶楽部10年で国内外6,000件の実績



立山室堂にて

特定非営利活動法人しゃらく

私たちは、介護や医療のケアが必要で旅行や外出をあきらめている人たちの心からの喜びを創り出すことを目的として活動しております。

旅をあきらめない



※この冊子に掲載されている写真は全てお客様よりご承諾をいただいております。

03 これまでの実績について

10年で国内外のご旅行6,000回の実績!

04 旅の事例集1 故郷大山への里帰り

お身体が弱ってから帰れなくなっていた故郷へ。3年ぶりの親族との涙の再会。

06 旅の事例集2 浜坂のカニと姫路城とあなご飯

家族の同伴なくお一人でカニと温泉を満喫。2日目は穴子も味わった満足の2日間。

08 旅の事例集3 エーゲ海への冒険 11泊13日の旅

準備期間7ヶ月!課題を一つずつ乗り越えた、エーゲ海のクルージングやイタリア観光の旅。

10 旅の事例集4 はるばる黒部ダムへ

黒部ダムから始まる北陸・金沢の旅。立山連峰から工芸、食べ物まで充実の4日間。

12 旅の事例集5 能登和倉温泉への俳句の旅

サンダーバードに乗り北陸への旅へ。俳句大会から水族館、料理まで北陸を満喫。

14 旅の事例集6 故郷バンクーバーに行きたい

人生のほとんどを過ごした思い出の地、カナダへ。旧友と再会し、思い出を巡った7日間。

16 旅の事例集7 東京ディズニーランドへの旅

アトラクションから夜のパレードまで大満喫! 2泊3日で楽しむ東京ディズニーランドの旅。

17 旅の事例集8 フルムーンあべのハルカスツアー

久しぶりのご夫婦での外出。景色と昼食、デザートを楽しんだ1日。

18 旅の事例集9 ハッピーウェディング

元プロスポーツ選手の父が娘さんの結婚式にご参列。晴れの舞台でその役目を見事に果たされた花嫁の父。

19 NPO法人しゃらくのご紹介

NPO法人しゃらくの活動内容についての紹介

おかげ様で10周年 延べ6,000回のご旅行をコーディネート

リピーター率80%以上 | 男性平均82歳 | 最高齢92歳 | 女性平均86歳 | 最高齢98歳

夫(妻)に先立たれて一人で旅行に行くのが不安!

胃ろう、人工呼吸、透析ケアが必要な方

夫婦でご旅行に行きたいけど、夫(妻)が介護が必要など。

北海道から沖縄まで!世界中どこへでもお手伝いします!

介護認定 (障害者認定)	疾病・障害など	年齢	性別	行き先	お住い	期間	ケア内容	顧客属性
要介護5	認知症	85	女	城崎温泉	神戸市	1泊2日	車いす移動介助・他全介助	初めて
要介護5	認知症	67	男	沖縄	淡路市	2泊3日	全介助	リピーター
要介護5	食道がん・脳梗塞	69	男	河口湖温泉	東京都	1泊2日	全介助(胃ろう)	初めて
要介護4	脳梗塞・血管性認知症	53	男	阪神甲子園球場	神戸市	日帰り	車いす移動介助・転倒防止見守り	リピーター
要介護4	脳梗塞	78	男	石川県お墓参り	大阪府	日帰り	全介助	リピーター
要介護4	僧帽弁閉鎖不全症・症候性てんかん	82	男	福岡	神戸市	2泊3日	車いす移動介助・転倒防止見守り	初めて
要介護4	脳血管性認知症・膝関節症	86	女	淡路	神戸市	日帰り	車いす移動介助・トイレ介助	初めて
要介護3	脳梗塞による失語症・左片麻痺	85	女	京都	宝塚市	日帰り	車いす移動介助・トイレ介助	リピーター
要介護3	脊椎分離すべり症・高血圧	92	女	北海道	神戸市	2泊3日	車いす移動介助・転倒防止見守り	リピーター
要介護3	認知症	85	女	神戸結婚式付き添い	愛媛県	日帰り	車いす移動介助・トイレ介助	初めて
要介護2	パーキンソン病・高血圧	77	女	出石~伊根船宿	明石市	1泊2日	車いす移動介助・転倒防止見守り	リピーター
要介護2	心不全	82	女	有馬温泉ランチ入浴	川西市	日帰り	車いす移動介助・入浴介助等	初めて
要介護2	認知症・高血圧・糖尿病	81	女	神戸動物王国	神戸市	日帰り	車いす移動介助・トイレ介助	初めて
要介護1	認知症・不整脈・高血圧	91	男	城崎温泉	神戸市	1泊2日	転倒防止見守り・入浴介助	リピーター
要介護1	シェーグレン症候群	83	女	高知	神戸市	2泊3日	車いす移動介助・転倒防止見守り	リピーター
要介護1	加齢による身体能力の低下	80	女	東京	川西市	1泊2日	車いす移動介助・転倒防止見守り	リピーター
要支援	知的障害	68	男	和歌山	神戸市	1泊2日	配慮が必要な食事・見守り	リピーター
未認定	高血圧	81	男	広島厳島神社	神戸市	1泊2日	転倒防止見守り	リピーター
なし	知的障害	55	男	ハワイ	小野市	4泊6日	車いす移動介助・転倒防止見守り	初めて
1種1級	脳性まひ	60	男	イタリア・ギリシャ	香川県	10泊11日	全介助(胃ろう)	初めて
1種1級	プラダーウィリー症候群	48	男	東京ディズニーランド	大阪府	2泊3日	車いす移動介助・入浴介助等	リピーター
1種1級	筋ジストロフィー	55	女	大阪観光	石川県	2泊3日	車いす移動介助・他全介助	初めて
1種1級	脳性麻痺・神経因性膀胱	67	男	佐賀県	徳島県	2泊3日	全介助	リピーター
1種2級	糖尿病・脳性麻痺	86	女	三田	明石市	日帰り	車いす移動介助・排泄介助	リピーター

こんなルートでご依頼いただいています

- ①ケアマネジャー 34%
- ②後見人等(弁護士司法書士ほか) 20%
- ③本人 16%
- ④家族(娘息子) 10%
- ⑤家族(配偶者) 8%
- ⑥介護担当者 3%
- ⑦家族(孫) 2%
- ⑧その他 7%

お申込みからご旅行実施までの流れ

ステップ1:問合せと電話でのヒヤリング

お客様のご要望とお体の状態、リスク等を把握させていただきます。

ステップ2:プランニング

アセスメントをもとにお客様に合わせた計画

ステップ3:打合せ

ご家族様や医療関係者と事前に打ち合わせします。

ステップ4:実施

「行ってきます」から「ただいま」の時まで、有資格者がエスコートします。

ご予約・お問い合わせ先



Non Profit Organization
特定非営利活動法人しやらく

〒654-0055 神戸市須磨区須磨浦通4-4-6 須磨浦ビル207号室 営業時間:9時~17時

TEL: 078-735-0163 FAX: 078-735-0164 Mail: sharaku@123kobe.com

故郷大山への里帰り

男性 83歳 要介護5



お姉さまとの久しぶりの再会

今回の旅は、神戸市内の特別養護老人ホームに所属されているケアマネジャーさんにしゃらくをご紹介いただき始まりました。しばらくして、施設で奥様、息子様とケアマネジャー様とご対面。奥様は明るく前向きでありながら、周りへの配慮を忘れない、私自身も本当にお手本にしたようなすばらしいお人柄の方でした。毎日施設まで足を運び、ご主人様の身の回りのお世話をされていました。本当にご主人様のことを愛されていて、心を込めて尽くされているのが伝わってきました。

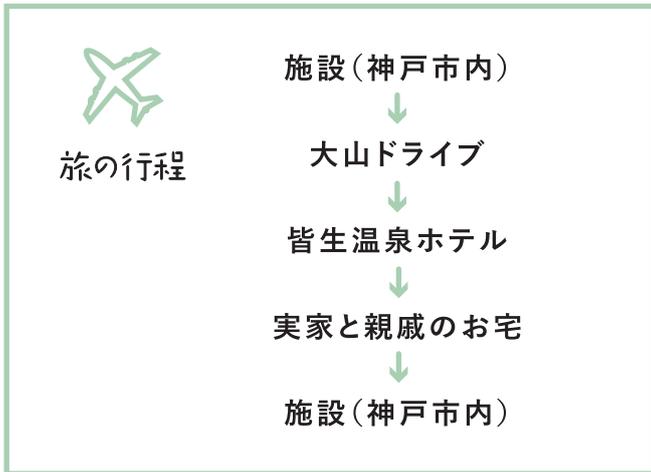
でも、私たちが外出について説明を始めると、奥様は本当に故郷にご主人を連れていけるのか・・・と最初は半信半疑のご様子でした。お話しを進めていくうち、次第にイメージが湧いてきて

徐々にテンションが上がってきたようで、実行するなら早い方がいいということで、すぐ故郷の親戚に電話をかけてくださいました。その場ですぐに日程と大まかなスケジュールも決まり、トントン拍子に事が運びました。

今回、私が最も気を付けたのは、やはりご主人様の体調管理です。尿カテーテルを装着されているのでその管理と、久しぶりの外出になるので、休憩時にはリクライニング車いすを倒してできるだけ腰の負担を軽減することを心がけました。

出発の朝。ご本人様は顔色もよく、準備も万端。お休みであるにもかかわらず、駆けつけてくださっていたケアマネジャー様のお見送りの中、いざ出発！

3年ぶりに大山へ 親戚の方々との再会に 心もからだも温まるひととき

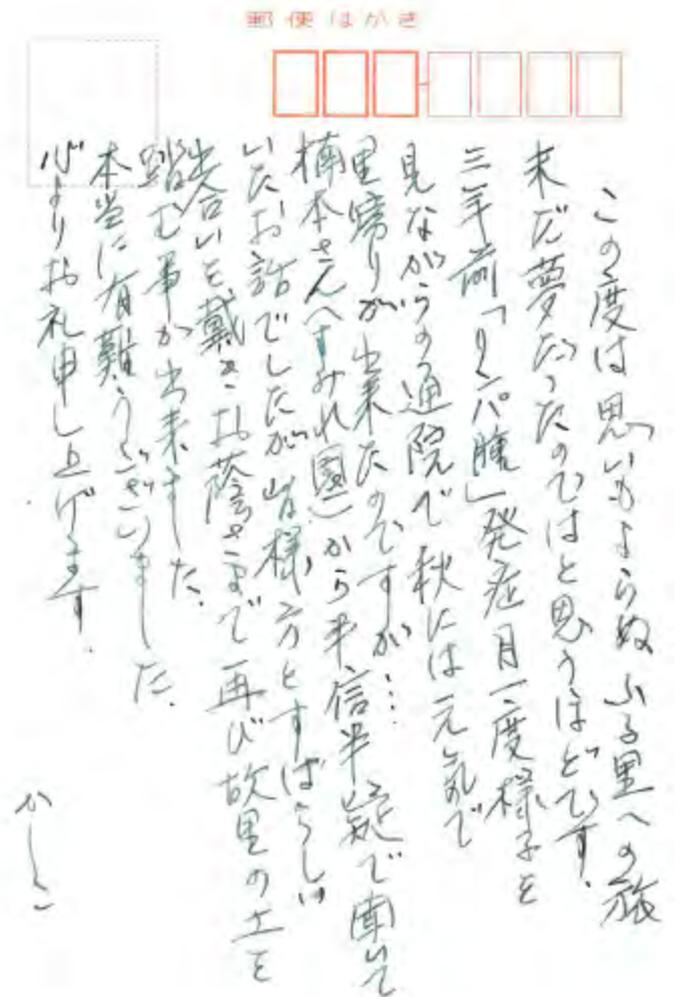


故郷の大山に着いて、予定通り、甥御さんと合流。面倒見のいい方で、長い間、地域の中で要職を担っておられ、引退してからも多くの方へのお世話でお忙しそうでした。奥様のお兄さまご夫婦もお二人とも気さくな方で、以前から知っている親戚のおじさんおばさんのようにとっても温かく私を受け入れてくださいました。

昼食は大好物のお蕎麦。その後ご主人様が好きな大山をドライブ。ちょうど山が色づき始めたころでした。お天気はあまりよくなかったのですが、大山がくっきり見えました。

そのあと皆生温泉のホテルへ。到着してすぐに、お部屋のベッドでからだを伸ばしていただくと、お疲れだったのか、すやすやと仮眠されほっと一安心。

夜ごはんはホテル内の和食のお店。ご主人のお姉様も合流、何年かぶりのご兄弟の再会に見ているこちらもうるっときてしまいました。そして、この日は更に、お孫様、ひ孫様も登場。皆さんから愛されているおじいちゃんなんだなあ～



とここでもじーんとくる私でした。

つい3年前までは毎年のように、里帰りをされていたそうです。それが、お身体が弱ってこれ、もう、行けなくなったと思っていたところ、ケアマネジャーさんにご紹介いただき今回のご旅行となりました。いろいろなご縁によって、実現できた今回の里帰り。このような感動的な機会に立ち合わせていただき、心から感謝しています。本当にありがとうございました。

浜坂のカニと姫路城とあなご飯

女性 26歳 脳性麻痺 身体障害1種1級



旬のかにしゃぶをご堪能

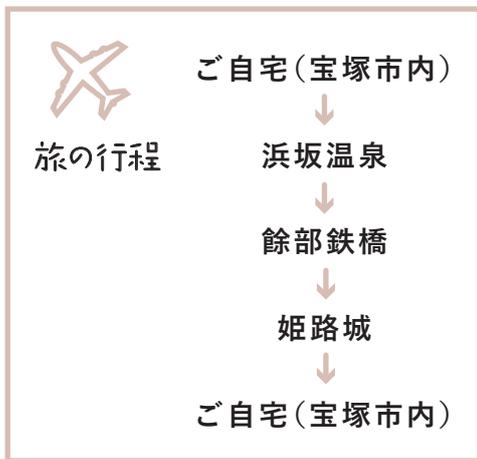
「娘は脳性麻痺で車いすですが、一人（家族の同行なし）でも旅行に行けますか？」

お母様からこのようなご質問をいただいたことがきっかけとなり、実施に向け動き出すことに。早速、通っている施設にアセスメントに伺いました。年齢はまだ20代でお若く、シャイな印象の方。文字盤・会話補助装置で意思の疎通ができることがわかり、内心ほっとしました。やはり、お客様に本当に心から喜んでいただくためには、お客様の思いを直接お聞きできることが一番近道だからです。

田村さんは1年ほど前からなんと一人暮らしを始められました。ヘルパーさんの介助があって

も、大変なことは想像できます。お母様は当初、ずっと泊まっておられたのですが、数か月前から夜間も含め完全に一人で過ごされ、今は日曜日だけ、行かれているそうです。そのお話を聞いたとき、本当に素晴らしい！と思いました。娘様が自立できるよう、少しずつ準備をして実行に移されている。なかなか簡単にできることではありません。

そしてお嬢さんもそのお気持ちに応え、独り立ちされ、今回は温泉に入りたいということで、ご連絡をいただいたのでした。



おひとりではじめての旅行

山陰でカニや温泉を楽しむ

1泊2日の旅



同行したヘルパーと一緒に



初めての姫路城



手作りのプレゼント贈呈

ご本人様からいただいたメール

初めての一人旅

一人暮らしもなれてきました。私は、もういちだんのステップアップで、こんどは一人旅にちょうせんをしました。ネットで見つけたしゃらくさんは、旅行のサポートをしてくれるところです。介護者と1泊2日の旅をしました。行く先は「浜坂にかにを食べに行くこと」です。

★1日目★ドキドキわくわくで、昼から車で浜坂にしゅっぱつをしました。車の中ではコブクロを聴きながら、外はこうようがめっちゃきれいでした。とちゅうで道の駅で休憩をしました。その後また車で、いどうしました。りょかんにつくころは、あたりはまっくらになっていました。少しお部屋で、休憩して いよいよ夕食でした。かにのおなべを食べました。ことし初めてのかにでした。最後はぞうすいをして食べました。美味しかったです。お風呂がこんでいて私は夜に入るのをあきらめました。介護者と二人でお酒を飲みながらゆっくりしたり、明日の予定をきめたりしました。

★2日目★ 朝風呂に入りました。よくしつのみどからこうようがめっちゃきれいでした。朝ごはんは、和食でした。ゆっくりと食べました。美味しかったです。りょかんをしゅっぱつして餘部鉄橋に行きました。上まであがりました。虹も見えて海も見えてとってもきれいでした。雨が降ってきたので、いそいでお店の中へかけこみました。おみやげを買いました。その後また車に乗って今度は姫路城に行きました。私は初めて姫路城にはいりました。お城は白くて、こうようと合って、めっちゃきれいでした。遅めの昼ごはんは、あなご玉丼を食べました。美味しかったです。その後は姫路城のそばまで行って、写真をとったりしました。かえてきた後に、介護者に手づくりのキーホルダーをプレゼントしました。

★感想★ はじめてしゃらく利用の旅行できんちょうしましたが、ゆうきを出して行ったらとっても楽しい旅行になりました。年1回はこんな旅行をしたいなと思います。この様な楽しい旅行にいけるのも、日ごろたくさんのヘルパーさんたちとの関わりで、思いを伝えることを身につけることができたおかげです。

エーゲ海への冒険 11泊13日の旅

男性 60歳 身体障害1種1級 胃ろう



エーゲ海 ギリシャ サントリーニ島

2月5日、入居されている施設のサービス管理責任者様から1通のメールをいただきました。8月以降にエーゲ海のクルージングに行きたいという希望があるとのこと。3月に入り早速お会いしに行くと、お客様は原因不明の感染症で入院中でした。それからお客様の元に足を運んだのは計6回。うち1回は宿泊して24時間のケア内容も一通り見させていただき、旅行中に必要な物品も一緒に足を運んで購入させていただきました。

出発までの準備に7か月間。その間に原因不明の感染症で2回の入院。薬や現地の医療体制の確認、経管栄養のためロストパッケージ対策、現地のバリアフリー状況や移動の手配。乗り越えないといけない山を一つひとつ乗り越え、ようやく8月18日に出発することができました。

施設を出発して27時間後、ミラノマルペンサ

空港に7時35分に到着。その後、ミラノ観光をしてからベネチアへ。世界遺産水の都を観光。段差だらけの町ですが、周りにいらっしゃった現地の方がその都度手伝ってくれサン・マルコ広場の鐘楼に難なく登ることができました。翌日、いざローマへ向かいました。ローマでは、少しバイタルサインが低下しましたが、日本のメディカルスタッフとの連絡のやり取りを経て対応、翌日は無事に回復しました。

この日は大本命の7泊8日のエーゲ海のクルージングへと向かいます。初めてお会いした時にテレビで「世界の船旅」という番組を見て、絶対に行きたい!と、強く訴えられていたお客様の夢でもあります。最上階の部屋に上がるなり、ベランダ越しに視界に入る景色。息が止まりそうになるぐらいの絶景でした。それからお客様はいつま

11泊13日の大冒険

あこがれのエーゲ海クルージング旅行



クルーズ船の船首



車椅子NGのサントリーニ島に人力で上陸



パナシナイコスタジアムでエスコートヘルパーと看護師に接吻されるお客様

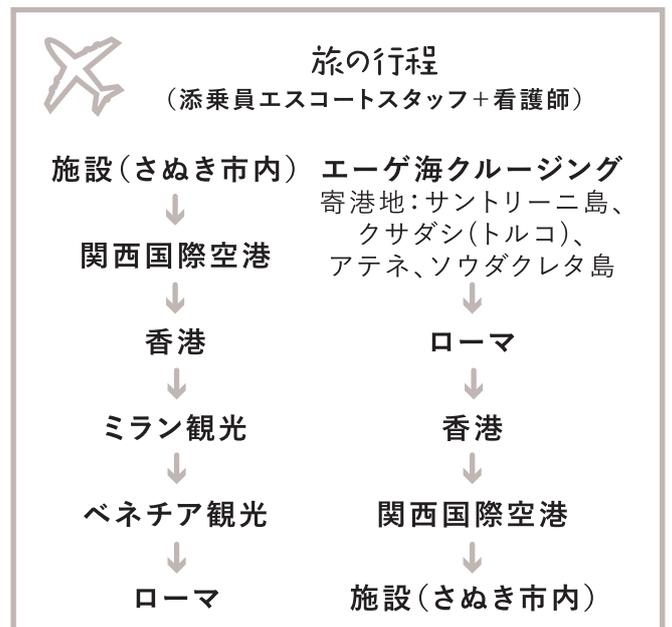
でも目の前に広がる海を眺めておられました。

乗船2日目の朝、最初の観光地サントリーニ島が見えてきました。エーゲ海でのメイン所です。ただ、クルーズ船からテンダーボート（小船）に乗り換えるため、車いすでの上陸は難しいと事前に言われていました。そこで私が抱っこして上陸することに。なぜそこまでしてその日のうちの上陸にこだわったのか。それは、その日がまさにお客様の誕生日だったからなのです。上陸できない理由をとれば上陸できる！サントリーニ島から見る眺める景色もまた最高でした。

その日の夜は、還暦のお祝い。赤いちゃんちゃんこを羽織って、乗組員やステージ上の歌手からお祝いのメッセージを頂きました。一生忘れることのできない誕生日になったかと思えます。

その後、トルコに寄港したのちギリシャのアテネへ。2020年のパラオリンピックに向けて、オリンピックスタジアムに足を運びます。そして、表彰台の上に！

ローマに寄港して、サンピエロ大聖堂やコロッ



セオを観光し帰路につきました。その冬、現地で観光を手伝ってくれたイタリアの方が遊びに来てくれました。わざわざイタリアから四国まで「友」に会いに。嬉しい次第です。

お客様は今もしゃらくの旅を利用して、音楽を聞きに国内旅行を楽しんでくれています。これからもいろんな所に旅に行ければと思います。

はるばる黒部ダムへ

女性 85歳 要支援



黒部ダムへ下るロープウェイにて

2～3か月に一度、旅のオーダーをしてくださっているK様。80代で要支援。施設の中では自力歩行で動かれています。転倒の危険もあるので外出時はいつも手押し車を利用されていて、ご旅行の時には車いすをご利用いただいています。

K様は元々とてもバイタリティ溢れる方で、多方面の経験をお持ちだけでなく、知識も大変豊富な方です。特に料理に関しては、今でいうところの料理研究家。一つの食材を買うために時間をかけて遠方に出かけたり、行ってみたい店があればわざわざ新幹線でお食事に行ったりと、本当に美味しいものを探求してこられた方です。食材の事や調理方法、それにまつわるご家族のエピソードや、子供時代のお話しなど、とめどなくお話は続きますが、私はそれを聞くのが大

好きなのです。田舎の風景が浮かんでくるようで、いつの間にか引き込まれています。K様はまた、若いころから多くの山を登ってきている元祖「山ガール」とでも言うべき方で、自然が大好き。毎回山を見る度に「すてきやね～」「わあ～」「あの稜線見て！すばらしいわ～」等と助手席で喜んでくださいます。

今回のご旅行の目的地は黒部ダム。神戸から黒部ダムまでは時間がかかるだけではなく乗り換えも多くなります。立山まで長時間しゃらく介護タクシーに乗車、その後ケーブルカー、高原バス、トンネルトロリーバス、ロープウェイ、ケーブルカーと乗り継いでやっと黒部ダムにたどり着くことができます。実は、旅行前K様は本当に車いすで黒部ダムまで行けるのか少し不安を感じられていたようですが、事前に連絡さえしっかり

立山連峰～黒部ダムへ車いすでの旅



車椅子をかついで～ケーブル



立山 ミクリガ池



近江町市場で生ガキ

しておけばきちんとサポートして下さるとい
のが実際に行ってから実感できたようです。
ケーブルカーでも職員さん4人がかりで慣れた
様子で車いすを持ち上げてくださって、声かけ
等の配慮もあり、安心してお任せできました。黒
部ダムを見たとき、K様は「本当に来れたんやね
～」としみじみおっしゃって手すりにつかまっ
て、長い間ダムをのぞき込んでおられました。

2日目の宿泊は立山で一番標高の高いホテル。
チェックインした後、外を散歩したいとおっ
しゃって、なんと車いすを押してホテルの周り
を散策されました。少しは整備されていると
はいえ、ガタガタ道や砂利道をものともせず
歩かれました。やはりご自身のお好きなの
ところに来ると、力が湧いてくるのでしょうか。

3日目は、立山から金沢へ。お昼は兼六園、
伝統産業工芸館、夜は美味しい店を探して
金沢の町に繰り出しました。

4日目、金箔の工程を見たいということで、
見学させていただき、お昼ご飯は近江市場
で海鮮丼に舌鼓をうち、帰路に着きました。

K様とは毎回、しゃらくのタクシーで旅行に



旅の行程

施設(神戸市内)



立山2泊



金沢



施設(神戸市内)

行っていただいています。いつもナビをのぞき
込んで、「これは〇〇川やね」とか、「次のサー
ビスエリア、大きいから休憩してコーヒー飲
もう」など、まるでご自分が運転しているか
のように常に何かに関心を持って過ごされ
ています。そして時々、「ずっと運転して
いたから疲れたでしょ?」とねぎらって
くださいます。

施設に帰ったあとは、いつもスタッフさん
にお土産話をされているようです。主に
テレビで情報収集されて、メモに書き留
めておられます。まだまだメモがあるよ
うなので、どこへでもお伴させていた
だきたいと思っています。

能登和倉温泉への俳句の旅

女性 78歳 要支援



能登島水族館にて

川西市にお住いのTさん。以前テレビでしゃらくの活動が放映されていたのを見てご連絡いただきました。それ以来、30回以上ご利用いただいています。ご病気の関係で左足が上がらず、段差を跨ぐのが難しいこと、長距離歩行が難しく車椅子利用であることから、動線に段差がないような行程を組むこと、また、忙し過ぎず、ゆったりとした行程になるよう心がけています。

そんなTさんの趣味は俳句。始めたのは65歳を過ぎてからのようですが、もうすでに全国各地の俳句大会で何度も入選され、賞状やトロフィーの置き場に困るほどの腕前です。私が旅行にご一緒しているときも時間があればすぐに

ペンとノートを取り出して楽しそうに俳句をつくられています。「人生で今が一番楽しい!」と笑顔でいつもそうおっしゃるTさんを私はひそかに人生のお手本にさせていただいています。

今回の目的地は石川県。特急サンダーバード、能登かがり火号を乗りついで和倉温泉駅に到着。そこからタクシーでNHK俳句大会の会場である、和倉温泉観光会館に行きました。Tさんは今までも数々の俳句大会に入選されていて、その度にご一緒しています。

俳句大会を楽しんだ後、お宿に向かいました。入浴介助を担当してくださるヘルパーさんと。七尾湾が一望できるとってもいいお部屋でした。お

サンダーバードに乗り北陸へ。

風景とお料理を楽しむ旅。



俳句大会会場



入浴介助のヘルパーさんと

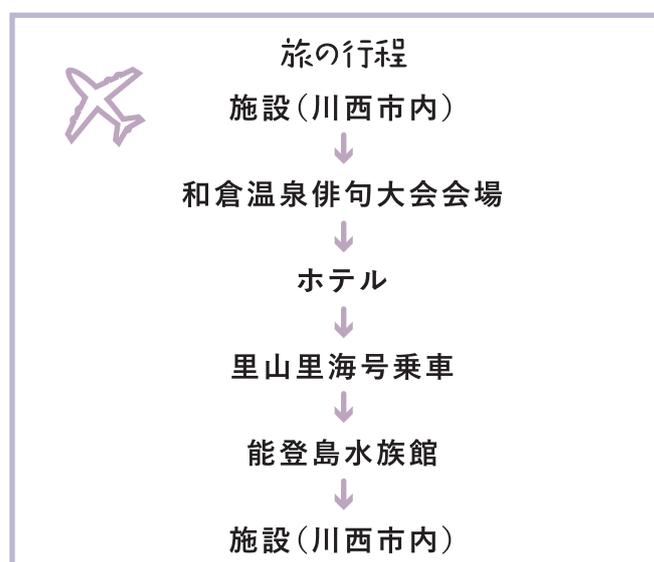


のと里山里海鉄道からの眺め

食事も「とってもおいしい!」とTさん。満面の笑みで大変満足していただいている様子でした。

2日目。のと鉄道の観光列車、「能登かがり火号」に乗車。Tさんは車両の内装や装飾品に興味津々。スタッフの方に何度も話しかけておられました。車窓から見える里山里海の素朴な風景。にぎやかすぎず、心穏やかに過ごせる雰囲気。「のと里山里海号」は想像していたよりはるかにいい列車でした。Tさんも終始笑顔で大満足の様子。スタッフのみなさんの対応も大変すばらしく、「またいつか乗りに来よう!」と何度もおっしゃっていました。七尾で評判のお寿司屋さんでとってもおいしいお寿司をいただいた後、最後の訪問先、能登島水族館へ。ジンベエザメの迫力に圧倒されました。

毎回Tさんとの旅行ではエネルギッシュなTさ



んから元気をいただくのですが、今回も旅行中にパワーをたっぷり注入していただきました! また今度もぜひ一緒させてくださいね。

故郷バンクーバーへ行きたい

女性 85歳 要支援



カナディアンロッキーを背に

Y様(=ベティ)は生まれも育ちもカナダバンクーバー。若い頃は外資系企業でバリバリ働くキャリアウーマンでした。カナダではベティというお名前と呼ばれていました(ご本人がベティにさんはつけないでおっしゃるので呼び捨てにさせていただきます)。ご主人を見送ってから日本に帰国され、ご自身も車いす生活となりました。現在はお世話をしてくださる姪御さんのいる神戸市内の施設に入居されています。

ベティは日本に帰ってきて以来、ご自身が長年過ごされたバンクーバーの地をもう一度訪れたいという思いを持ち続けていました。その思いが年々大きくなっているのを知った姪御さんはどうにかして連れて行ってあげたいと思いつつも、具体的にどうしたらいいのかわからず思いあぐねておられました。そんな時、偶然施設の

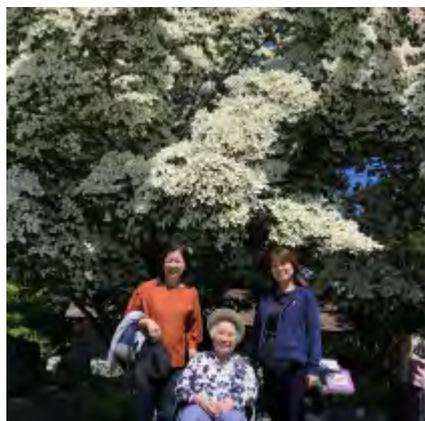
玄関に置いてあったしゃらくのパンフレットが姪御さんの目に留まり、実現へ向けて話が動き始めました。

最初のヒアリングで「バンクーバーまでの飛行機内で腰の悪いベティの体調は大丈夫なのか?」「飛行機内での狭いトイレで介助は可能なのか?」「海外のホテルのバリアフリー状況はどうなっているのか」「現地での介護タクシーの手配はできるのか」「ベティが行きたがってる生家の住所がはっきりわからない。そしてまだ生家が存在するのか?」等々多くの不安や課題が出てきましたが、一つ一つ問題を解決し、無事出発にこぎつけることができました。

行きの飛行機の中。事前の打ち合わせでは、狭い通路を通れるような小ぶりの車いすを乗務員さんに押しもらい、到着後に私がトイレまで

故郷への久しぶりの旅行。

旧友との感動の再会。



バンクーバーにて



バンクーバーの公園を散策



無二の親友Y子さんと淡路島にて

手引きで誘導、開いたままのドアを乗務員さんにブランケットで目隠してもらおうという手はずでした。ところが予定していたスペースの広いトイレは座席からはとても遠い上に、狭い通路を小ぶりの車いすで移動しなければなりませんでした。乗務員さんが車いすを押し始めると、肘が他のお客様の椅子にあたりたりして、ベティが「NO!」と言われました。こうなると、座席から近いけれども狭いトイレを試してみるしかありません。「ベティ、10歩歩けますか？近い方のトイレに行きましょう。」と私をご提案すると、「OK!」とのお返事。両手引きで歩いていただきました。とても狭い飛行機のトイレで何とか方向転換して便座に座っていただくことができました。

一度、成功したら、二回目は慣れたものです。歩く時も、いっちなっ、いっちなっ、と歩くことができ、ベティも笑顔です。本人は歩けないと思い込んでいるようでしたので、今回、手引きで歩かれたことは、とても自信になられたかと思います。

現地については、無二の友や麻雀仲間、いとこさんご家族とも涙の再会。観光やお買い物、そして生家も見ることができて感動の旅になりました。



旅の行程

施設（神戸市内）

伊丹空港・成田空港

カナダバンクーバー3泊

成田空港・伊丹空港

施設（神戸市内）

後日談ですが無二の友のY子さんが約束通り、バンクーバーからベティに会いにこられました。その際当社にご連絡いただき、淡路島温泉一泊の旅もお任せいただきました。鳴門のうず潮や花さじき、お二人の大好きなお肉料理やソフトクリームなどを召し上がり、再会を約束して、お帰りになりました。

また、バンクーバーに行きたいとおっしゃっておられますので、その際もお付き添いさせていただきます。

東京ディズニーランドへの旅

男性 70歳 療育手帳B1(知的障害)



東京ディズニーシー

しゃらく旅倶楽部ご利用10回目となるご旅行で、定番の東京ディズニーランドを選ばれたお客様。お客様は、足腰は健脚ではありますが、食事にこだわりがあり、野菜が目に見える形で入っていたり、硬い食べ物、食べたことのないものが出てきたりすると、一切口にされません。ですので、旅行中のお食事の手配に最も気を遣います。

新幹線の中から富士山を見て、「(以前に一緒に)行ったね」と話した以外、終始無言で車窓を楽しみながら東京へ向かいます。東京ディズニーランドに到着すると、いつもはおとなしいお客様のテンションが上がってきます。普段は車と電車以外は乗ろうとされないのですが、今日ばかりはスペースマウンテンなどアトラクションも楽しんでいただけました。今までに見たことのないぐらい、かなりテンションが上がったため、早めにホテルに戻り食事と仮眠を取っていただきました



旅の行程

ご自宅(神戸市内)
↓
東京ディズニーランド
↓
東京ディズニーシー
↓
東京スカイツリー
↓
ご自宅(神戸市内)

た。それが功を奏したのか、夜のパレードも無理なく楽しんで頂けました。2日目のディズニーシーでは、雰囲気慣れられたのか更に積極的にまわられるばかりでなく、気に入った乗り物に何度も乗られておりました。

東京ディズニーランドでは、園内もホテルも協力的で配慮が必要なお食事も気持ちよくご対応いただけました。さすが東京ディズニーリゾートです。2019年の春にも、またご一緒する予定です。

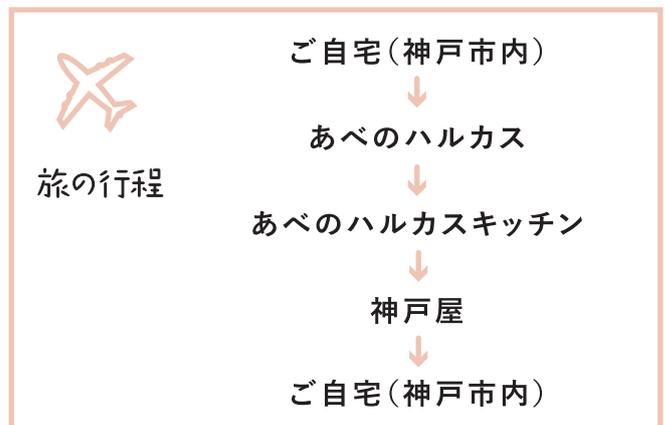
フルムーンあべのハルカスツアー

男性 86歳 要支援2 身体障害者2種2級 | 女性 82歳 要支援1



あべのハルカスからの眺め

今から半年ほど前、娘様からご両親を旅行に連れて行ってほしいとのご連絡があり、ご自宅にアセスメントにうかがいました。ご主人様は要支援ながらも、左目失明、右目視野狭窄のため、安全性を考えて車いすをご利用していただくことにしました。奥様は自力歩行はできるけれども、あぶなっかしい場面が時々見られるとのことで、杖歩行でご旅行に参加していただくことになりました。当日は渋滞もなく、スムーズにあべのハルカスに到着。お天気は曇っていたものの景色はよく見えて、お二人の出身の明石方面を見たときは「ああ、あれが明石大橋やね、昔は家から淡路島で歩いてる人見えたんよ～」などと懐かしそうにお話してくださいました。景色を堪能した後は、もう一つのお楽しみ、ハルカスキッチンのお寿司屋さんでご昼食。ご夫婦で外食されることも少なくなったとのことでしたので、「ビールで乾杯」ポーズをリクエスト、しっかり写真に



撮らせていただきました。そのあとは3つ目のお楽しみ、コーヒータイム。事前にリサーチしていたご自宅近くのカフェに入りました。奥さまは普段は甘いものはセーブされているのですが、その日は娘様のOKが出ていたので、ケーキセットを存分に召し上がりました。「おいしいわ～～」と笑顔いっぱいでおっしゃっていただけました。

またこれからも、ご本人様やご家族様皆さんに喜んでいただける旅行をつくっていきたくと思います。

ハッピーウェディング

男性 60代 脳血管障害 右半身麻痺



庭園での集合写真

以前しゃらくを利用してくださったご親族の紹介で、娘さん・めい御さん2つの結婚式に参列される方のお付添いをさせていただくことになりました。ご本人様はプロスポーツ選手を経て、指導者として活躍されていた時に倒れられ、その後、体に麻痺が残りました。

初めてお会いしたときはまだまだお若いのと、プロスポーツ選手だったということで、すごく体幹がしっかりされてるという印象でした。ただ今回は、花嫁の父、花嫁のおじとしてひと月に2回も出番がありますし、結婚式場がどちらとも神戸の北野!急な坂道。館内はバリアフリーではないところもあり、段差や階段の昇り降りや手すりのないトイレなど・・・転倒されないよう緊張して見守りさせていただきました。ご本人様はポーカークフェイスでとても冷静な方という印象で



旅の行程

ご自宅(明石市内)

→ 神戸北野結婚式場

したが、やはりご兄弟に会われたときや娘様とお話しされるときなど、とってもすてきな笑顔を見せておられました。

後日、花嫁花婿さんではなく、ご本人様中心で撮ったお写真をお送りすると、不自由なお身体で、お電話してくださり「僕は喜んでいるんです。」と仰っていただけたことは私にとって忘れられない思い出です。思い出すたびに心が温かくなります。ご家族の大事なイベントに参加させていただき、本当に私共は特殊な立ち位置ですが今後も一期一会の精神でのぞませていただきたいと思います。

NPO法人しゃらくのご紹介

しゃらく旅倶楽部事業を通じて学んだことなど、
以下のテーマなどの講演会承ります!

【講演テーマ】

旅をあきらめない!、介護付添旅行とは!
旅の事例リレートーク、ソーシャルビジネスの事例
チームビルディング、など。

【今までの講演実績】

ケアマネジャー勉強会、医師会
兵庫県/市町村の職員研修、企業内研修
教育委員会、弁護士会、各大学での講演、各組織の新入社員研修など。

絶対寝させない!
笑いと感動ある
講演会&セミナー

年間30本~50本の実績
90%のリピーター!



代表理事・事務局長 小倉 譲

1977年6月18日生まれ。高校卒業後、中国上海、雲南省へ4年間の留学。その間、中国とアジアを中心に放浪の旅をする。立命館アジア太平洋大学マネジメント学部入学。大学時代は、語学塾の立ち上げと運営を行う。2005年にNPC(非営利株式会社)和橋の立ち上げ、代表に就任。2006年、特定非営利活動法人しゃらくに組織変更し、代表理事兼事務局長に就任。

<その他役職>

- ・一般社団法人 全国旅行業協会 兵庫県支部 理事
- ・(特非)ワーク・ライフ・コンサルタント 常務理事
- ・財団法人ひょうご仕事と生活センター アドバイザー
- ・兵庫県ビジョン委員会等の多数

会社概要

名称	特定非営利活動法人しゃらく
設立年月	2006年1月
役員	代表理事 小倉 譲 副代表理事 西川伸一(医療博士)、理事 坂本泰樹(医療博士) 監事 吉田裕樹(弁護士)
従業員数	13名
所在地(本部)	神戸市須磨区須磨浦通4丁目4-6 須磨浦ビル207 TEL:078-735-0163 Fax:078-735-0163
所在地(三ノ宮ランチ)	神戸市中央区雲井通5丁目3-1 サンパル2階 TEL:078-241-9797
加盟団体	一般社団法人全国旅行業協会 兵庫県経営者協会、兵庫県中小企業家同友会



Non Profit Organization
特定非営利活動法人 しゃらく

旅行サービス

介護・看護付き旅行サービス
施設利用者向け団体旅行サービス
会社・組織向け懇親旅行サービス
チームビルディング旅行サービス
【旅行業法に基づく旅行業】
兵庫県知事登録旅行業第2-628
総合旅行業務取扱管理者:小倉・須貝



生きがいしごとサポートセンター神戸西

生きがいしごと サポートセンター事業

※兵庫県からの委託事業

【求人・求職支援】

ボランティアコーディネート
NPO等の経営支援
センター長 小嶋(078-731-2251)



NPO設立運営相談窓口神戸西

※神戸市からの委託事業

NPO法人の設立支援
NPO法人のマネジメント支援

NPO学生交流拠点



ソーシャルキャンパス 三ノ宮

※神戸市からの委託事業(一部)

大学生と企業・NPOとのマッチング
就職支援



Non Profit Organization
特定非営利活動法人 しゃらく

お問い合わせ先

〒654-0055 神戸市須磨区須磨浦通4-4-6 須磨浦ビル207号室

営業時間:月曜~金曜 9時~17時 休業日:土日祝日

TEL : **078-735-0163** FAX : **078-735-0164**

Mail : **sharaku@123kobe.com**